



デンジャー・ギャル・ドシエ+

デンジャー・ギャル・ドシエ用追加コンテンツ

執筆&デザイン: J・グレイ、ジェームズ・ハット、アン・モリスン、クリス・スパイヴィー、
 デイヴィッド・アッカーマン、フランシス・スチュワート、ケイト・ブロック、リンダ・M・エヴァンス、マライズ・エヴァンス、
 メリッサ・ウォン、ノーラ・イブラヒム、パリス・アロースミス、スティーヴ・ケンソン、トレース・ウィルソン、
 トレイシー・ハーン、ツネオ・タテノ (楯野恒雪) • **編集:** キャロル・ダーネル、ロウ・フライアー、マット・クリック
アート・ディレクション: ウィンタージェイ • **業務管理:** リサ・ボンズミス • **レイアウト:** J・グレイ

翻訳: 楯野恒雪、桂令夫、塚田与志也 (サイバーパンクRED 翻訳チーム)

Copyright © 2023 by R. Talsorian Games, Inc., Cyberpunk is a registered trademark of CD Projekt Red S.A. All rights reserved under the Universal Copyrights Convention.
 All situations, governments, and people herein are fictional. Any similarities portrayed herein without satiric intent are strictly coincidental.
 Miniatures and related artwork © 2023 Monster Fight Club, LLC. All Rights Reserved

本作品に登場する個人・団体・製品・思想・宗教・病名、その他はすべてフィクションであり、実在のものとは一切関係ありません。同様に特定個人や団体などを攻撃する意図はございません。あらかじめご了承ください。
 本書のいかなる内容も、事前の許可なく電子的、機械的、コピー、録音、その他の方法で、複製、検索システムへの保存、またはあらゆる形式での送信を行うことを禁じます。 © HobbyJAPAN

訳注

CPRは『サイバーパンクRED基本ルールブック』の、DGDは『デンジャー・ギャル・ドシエ』の参照ページを表している。

映画を家で見るためにDVDやブルーレイを買った、没シーン集やコンセプトアート・ギャラリーなんかのボーナスコンテンツが付いてくるのを知ってるかな？

『デンジャー・ギャル・ドシエ^{プラス}』は、それと同じようなものだ。ただしあくまでTRPG用だが。NPC&組織ガイドブック『デンジャー・ギャル・ドシエ』には、ページ数の都合で載せられなかった面白いコンテンツがたくさんある。それを全部ボツにするのはもったいないから、ここで紹介することにしたというわけだ！各組織のミッションのネタ、追加アイテム、『インシデント』ミッションの追加情報を楽しんでくれ。あと、追加のボゾーズも1人いるぞ！ピエロは何人いても多すぎはしないからな。

プロットのアイデア

各組織に関連したミッションのネタを以下に示す。これらのアイデアを膨らませてフルサイズのミッションを作ったり、愉快なサイド・クエストを作ったり、キャンペーンの背景で流れるニュースのネタにしたり、自由に使ってくれ。

シックス・ストリート

- **契約、契約、契約：**とあるスタートアップ・ネオコープが、シックス・ストリートに有利な契約を持ちかけてきた。しかし話がうまくいかない。報酬は良すぎるし、仕事は簡単すぎるし、おまけにそのネオコープの創業者たちの出自は誰にも突き止められない。そこで、シックス・ストリートのボスであるXは、表向き自分たちとつながりのないエッジランナーの一団に接触して真相を突き止めてもらおうとする。(訳注：スタートアップは新しく設立された企業、とりわけ新たな事業領域を開拓する企業のこと)
- **サイバー連続殺人犯：**4日に1度、無残な人体彫刻を施された死体が公共の場に放置される。この犯罪には共通点がある——犠牲者はみな20～35歳で、外科手術のように正確に、人間業とは思えぬほど素早く切り刻まれている。シックス・ストリートは、MAX-TACがやって来て手柄を横取りされる前にこの殺人鬼を倒すチームを募集している。
- **NCPDの破壊工作：**NCPDの正規部隊が正体を隠して不正規作戦を行ない、この地区にトラブルと緊張を作り出し、“シックス・ストリートはこの状況に対処できない”ことを喧伝しようとしている。彼らは日々、悪ふざけをエスカレートさせ、とうとうNCARTの駅に爆弾を仕掛けよう、と“爆弾はシックス・ストリートのものだ”というでっち上げの証拠まで仕込んだ。デルという名のソーナーズは、この計画を小耳にはさんだが、デルの言うことを信じる者は誰もいない。クルーは人命を救い、シックス・ストリートの感謝を受けることができるだろうか？

ボゾーズ

- **ビッグ・トップ、ビッグ・マネー：**ビッグ・トップがミリテクの軍用傘(DGD P.144参照)を残忍きわまる方法で使っている動画がデータ・プールに流れた。ミリテク社は自社ブランドに殺人ピエロのイメージが付くのを快く思っていない。彼らは、ミリテク製品による殺害だとはっきり分かるやり方で公然とビッグ・トップを処刑した者に大金を払う用意がある。
- **ボゾーズ狩り：**MAE(DGD P.15参照)の後、NCPDはボゾーズの主要メンバー(主要メンバーなら誰でも構わない)の情報や生け捕りに賞金を出すと発表した。わかると思うが生け捕りというのは生きたまま捕らえることだ。死体は一銭にもならない。
- **なんてこった、ピエロどもだ！：**クルーは深夜にいくつもの大きな“レンガ”を街の端から端まで運ぶ仕事を引き受けた。彼らを雇ったフィクサーは関係各所に金を渡してあるので、仕事は順調に進むはずだった。ところがそこへボゾーズが首をつっこんできた。

デンジャー・ギャル・プーマ・スクワッド

- **オタク・シティの恐怖と憎悪：**ナイトコン——それはナイトシティで一番多くの人々が集うオタク向けコンベンションだ！このイベントにエルフラインズ・オンラインの開発者の1人が一般参加者として訪れる。しかし、最近のアップデートでお気に入りの武器が弱体化されたことを恨んだ地元サーバーのプレイヤーたちが徒党を組んで、その開発者をオフラインで殺害しようと計画している。これを察知したプーマ・スクワッドは、クルーに1つの任務を依頼してきた。エルフラインズ・オンラインのコスプレ衣装で変装した覆面ボディガードとしてイベントに紛れ込み、襲撃グループの首謀者を見つけ出して欲しいというのだ。
- **恐るべき一致：**最近海辺に打ち上げられた身元不明の女性の遺体。その身体的特徴と遺伝子プロファイルがリンクスのそれと完全に一致した。しかしリンクスは安全なデンジャー・ギャル本社でピンピンしている。内部脅威の可能性を危惧したデンジャー・ギャルは、外部の調査員を雇って捜査を行なうことにした。(訳注：内部脅威は、組織内で働く人物が正当なアクセス権限を意図的または非意図的に悪用して、セキュリティ上の問題(情報漏洩など)を引き起こすこと)
- **プーマ、お願いだからあの子供たちから手を引いてくれ：**ヤバイ状況から助け出してくれる親切な猫耳の女性の話は、以前からあちこちのヨーギャンガーたちの間で語られてた。子供たちの間では、家主がいつも留守にっていて、悪用さえしなければ風呂や寝床を借りられるアパートの噂がささやかれている。その家主はなぜこんなことをしてい

訳注

ナイトコンは、現実世界におけるサンディエゴ・コミックコン(San Diego Comic-Con)のような、オールジャンルのポップカルチャーイベント。

るのだろう？これは本当に愛他的な行為なのだろうか、それとも新手の勧誘作戦なのだろうか？

デジタル・ディーヴァズ

- **DMSの怪しい動き**：DMS社はなぜシズル・ジャムズを支援しているのだろうか。何らかの秘密の計画があつてのことか、それともアルバート・ラッドが彼独自の意図で動いているのか。
- **音楽泥棒**：このバンドが機器メンテナンスを頼んでいるマットの工房から修理用品を盗んでいるのは誰だ？ありふれた泥棒だろうか、それともデジタル・ディーヴァズが次のライブを開くことを良しとしない誰かの仕業だろうか。
- **未解決の間**：ベヴ・ヘイトリックがという女がデジタル・ディーヴァズのライブ後に放火をやらした。だが理由はなんだ？単にこの女が頭のおかしいファンだからか、それとも背後で何らかの陰謀が蠢いているのか。

エッジランナー

- **データ集め**：美知子・サンダースンはこのエッジランナーたちについて、最初の調査報告書より詳しい情報を欲している。そこでデンジャー・ギャルは情報収集のためにクルーを雇うことにした——言うまでもなく、調査は慎重に。場合によっては雇い主がキャラクターたちに、調査対象の実力を“実戦的な状況で”測定するためのお膳立てまで依頼してくるかもしれない。また、キャラクターたちがこの仕事を上手くこなせば、彼ら自身も同様の実力測定を受けることになり、その結果次第で美知子から続けて仕事を頼まれたり、正社員としての雇用を提案される……という可能性もある。
- **データ買い取り**：デンジャー・ギャルはクラッシャーやCrABロードのようなエッジランナーが集めた膨大なデータやメディアのファイルを入手したいと考えている。その中にありとあらゆる有用な情報が眠っている可能性があるからだ。この企業は仲介役としてキャラクターたちを雇い、取引の条件を伝えさせる（取引が断られた場合はファイルを盗むのも依頼の内だ）。しかし、この手の話はどうしても漏れるものだ。その結果、“美知子の手下”が追いかけている対象に他の勢力が興味を抱くかもしれない。あるいは、データの持ち主であるエッジランナーの1人が、複数の買い手同士を競わせようとして、自分のデータは盗まれた／破壊されたと嘘をついてはぐらかそうとするかもしれない。
- **データ盗難**：デンジャー・ギャルの厳重なセキュリティに守られたサーバーから、エッジランナーに関する調査報告書（**DOG P.39～56**）が盗まれた。泥棒の正体を突き止める捜査は今も継続中だ。この泥棒はドシエの中身を使って、そのエッジランナーたちに“おまえの秘密を知

っているぞ”と囁き、金品を脅し取ろうとするかもしれないし、盗まれたドシエを回収するためにクルーが雇われるかもしれない。あるいは、盗まれたドシエの中にクルーに関するものも含まれていて、クルー自身が脅迫の対象になる可能性すらある！盗まれたファイルを追いかけるレースの始まりだ；参加者はデンジャー・ギャル、さまざまなエッジランナーたち、そしてクルー。緊迫感を高めたいなら、脅迫されるエッジランナーの中にテツオを含めた上で、“この元ソロは自分の新たな人生を守るためなら手段を選ばないだろう”とほめかせばよい。

ジェネレーション・レッド

- **おたくのお子さんがどこにいるかご存じですか？**：ジェネレーション・レッドの一部メンバーは、“大人の保護者はいるが、保護者からきびしく監視されているわけではない”状況にある。しかしその保護者が“うちの子を連れ戻したい”と思うこともあるだろう。それどころか、“うちの子が自由時間を旧コンパット・ゾーンで過ごすのは心配だ”と本当に思っている親だっているかもしれない。
- **子供たちを敵から助けよう**：この悪ガキ連中はなわばりをうまく守ってきたが、まだ誰一人として法的に成人に達してはいない。市当局がやって来たら、彼らはすぐく頭を使う必要があるだろう。そして彼らよりも大きなブースターギャングが近所をうろつき始めたら、彼らは頭を使った上に幸運に恵まれるか——あるいは、外部の誰かに助けをもらう必要に迫られるだろう。
- **それは本当に子供たちの助けになるの？**：デンジャー・ギャルはいつも新人を探している。そしてこの子猫たちは爪を持っていることを証明済みだ。ブレーズは既に半ば会社に取り込まれているが、エイペックスと副官株のルックアウトはとても協力的とはいえない。第三勢力からの圧力を受けたなら、子供たちはどうするだろうか。やむなくデンジャー・ギャルの下につくだろうか。それとも自分たちだけで団結して敵にあたるだろうか——幸運を！

メールストローム

- **口封じ**：NCPDの刑事マウザーは、メールストローム内に情報提供者を抱えていたが、あるとき聞き捨てならぬ噂を聞いた。とある汚職警官が、その情報提供者のことを“暴露”しようとしているというのだ。マウザーはくだんの警官が口を滑らせる前にその汚職警官を始末したいと思っている。そしてこの有名なサイバーサイコハンター（＝マウザー）は喜んで金を払うつもりでいる。
- **死人すなわち部品**：メールストロームは常に予備のサイバーウェアを探している。彼らは、壊れていないパーツや修理済みのパーツ、とりわけ核爆発によって目に見える傷や焼けの入ったものには追加料金を支払う。

- ・ **生の舞踏**^{レーベンタンツ}：フレンサーは、メイルストローム（およびトータンツ）のために倒壊の恐れのない新しい家を見つけてくれる不動産屋を探している。彼女はワトソン地区の物件をリストアップしており、クルーが“売る気のある売り手”を紹介できるなら、それ以上は何も聞かずに報酬を出す。物件がホテルなら一番いい。報酬は現金ならそこそこのレート、サイバーウェアでいいならもっといいレートで払う。

ネットワーク54

- ・ **ナイトシティ脱出**：フィオナはネットワーク54に幻滅し、自分は死んだということにしてしまおうとする。彼女は“ネットワーク54は自社の計画が台無しになるのを望まないはず”と知っており、街からの脱出のためにクルーを雇った。むろん、クルーが彼女を裏切ってネット54に引き渡せば、もっと金になる可能性もある。
- ・ **人質事件!**：フィオナと彼女のチームは、メイルストローム・ギャング団とロックリン・オーグメンティクス社の関係を調査している最中につかまって人質になった。ネット54はギャング団に法外な身代金を払うのを拒絶し、エッジランナーたちに人質奪還を依頼しようとする。
- ・ **取り立て代行**：何者かがバイオテクニカ社から肥料の製法データを盗んだ。フィオナ・ヘイズはこの一件を取材した。事件の裏にいと見られるペトロケム社のエグゼクは、ネット54に頼んで放送を中止してもらったにも関わらず、その“礼金”を踏み倒そうとしている。ネット54のエグゼクは、礼金を払うようペトロケムのエグゼクを“説得”するためにクルーを雇った。
- ・ **本物のフィオナが生きていた?**：ナイトシティ内外で、フィオナ・ヘイズにそっくりの人間が何度も目撃されている。ストリンガーは、もしやそれは命取りの“事故”にあったが奇跡的に生き残った“俺の”フィオナではないかと考え、それを確かめるためにクルーを雇った。もし本当にそうなら、アングルは彼女の死を望むだろう。

NCPD第1分署

- ・ **ブロック・パーティー**^{ジェントリフィケーション}：ジラーファ社は街の廃墟化した1ブロックを再開発目当てで買い取った。そしてNCPDはそのブロックからリクレーマーのグループを追いつくように命じられた。リクレーマーたちは「私たちは市当局からこのブロックを改修する許可をもらっているんですよ」と言って、チームに助けを求める。
- ・ **競争**：チームは、アッパー・マリーナ地区でネオコープのエグゼクを調査していた。だがそのとき、NCPDの捜査部隊が同じエグゼクに対して独自の作戦を実行中だとわかる。彼らは警察に協力するだろうか、警察を出し抜こうとするだろうか、それともあえて警察の邪魔をするだろうか？

- ・ **新しい麻薬の裏には誰が?**：旧コンパット・ゾーンでギャング同士の衝突が急増している。普通なら、誰のなわばりでもないコンパット・ゾーンでギャングが何人死のうと気にする奴はいない。だが今回はNCPDがチームに助力を求めてくる。「新しい麻薬がストリートを席巻しているという噂がある、噂の裏を取るのに力を貸してくれ」というのだ。

ピラーニヤズ

- ・ **血に飢えたピラニア**：今夜エッジランナーが主催するパーティーはいくつもある。その中で主だったもののすべてに、少なくとも1人はピラーニヤズのメンバーが参加している。これ自体は何ら珍しいことではない。珍しいのは、今夜のピラーニヤズが血を求めていることだ。噂によれば、エッジランナー連中の誰かが、ダーティ・シャーリーの麻薬の1つの製法データを盗んだのだという。このパーティー・ギャング（ピラーニヤズ）が盗人を見つけたらどうなるかって？ その盗人が今夜の最後のピニャータになるのさ。ピニャータは知ってるだろ？ メキシコの、紙でできたクス玉人形。目隠しをした子供が棒でたたいて割ると、中からお菓子やおもちゃがあたりじゅうに散らばるやつだ。
- ・ **一味違うパーティー**：ピラーニヤズのパーティーは無上の幸福を約束する。だが噂では、追加料金を払えば少々幸福度を下げて流血度を上げることができるという。ピラーニヤズが犠牲者をどこから集めてくるかは誰も知らない。だが噂では、エリート連中をさらってきて犠牲者にするのだという。
- ・ **パーティー・ガール**：ミスター・カーナガン（CPR P.306 または『ブラック・クローム』P.144参照）の跡取り娘である20代のエピファニーは、この3ヶ月間ずっとパーティーを続けている。誰かがエピファニーを何とかする必要がある。つまり、彼女をパーティー会場から連れ出す（そして父親のもとに送り届ける）か、エピファニーが横暴な父親から逃げるのに手を貸してやる必要があるのだ。

サイトシアーズ

- ・ **噂集め**：NCPDとノーマッドの大規模衝突を防ぐため、レーサーはアルデカルドに縁のあるメディアのトレース・サンチャゴに連絡を取り、今回の事件およびエンドーとスワールが受けた仕打ちについて報道してもらうことで、警察に世論の圧力を向けようとする。トレースはエッジランナーたちを雇ってサージおよび彼の配下を調査させ、逮捕の背後に潜む真実を暴こうとする。
- ・ **人殺しと濡れ衣**^{めざめ}：サージは今回の事件に自分が関与していることを隠すために、エッジランナーたちを雇ってピットブルを始末させ、かつそれを地元のギャングの犯行に見せかけようとする。ピットブルさえ死ねば、緊張が和らぐだろうと期待してのことだ。

- **脱獄：**エンドーとスワールは留置場にぶちこまれた。レーザー、グレア、ゲイズの3名は仲間2人を脱獄させようとする。この事件にアルデカルド全体を巻き込むわけにはいかないので、レーザーはエッジランナーたちに脱獄の手助けを依頼する。
- **どちらの側につくか：**NCPDとノーマッドの緊張が高まるにつれて、いくつかの群れのリーダーたちは第1分署へのゲリラ攻撃を企てる。エッジランナーたちは彼らの攻撃を支援してもよいし、両勢力の死傷者を減らすために介入してもよい。

チーム・モンスター

- **ペットウサギの秘密：**バイオテクニカが私有する近くの島で非倫理的な研究を行なっていることを、ナイトシティの地下活動家ハッカー集団であるサブアトミックスが発見した。彼らは物理的な証拠を入手し研究をやめさせることのできるエッジランナーたちを探している。おまえは酒場でけったいな噂を耳にした。チーム・モンスターとバイオテクニカと……殺人兇手？ おまえは酔っぱらいのたわごとだろうと聞き流したが、チーム・モンスターなら何らかの有益な内部情報を知っているかもしれない。
- **ミュージシャン連続失踪事件：**市内のクラブで演奏していたミュージシャンが何人も行方不明になっている。彼らは全員、とあるお偉方に雇われて内輪のパーティーで演奏していたという噂だ。クラブ“ザ・パラドックス”のオーナーであるブルース・マクシスは、自分の所有物件にお抱えの歌手たちを住ませる長期契約を結んでおり、歌手たちが無事に帰ってきたなら謝礼をたっぷり支払うだろう。ノックス・アーリアもザ・パラドックスの有名人気歌手の1人だ。彼女はこの失踪事件について何かを見聞きしているかもしれない。
- **ライバル・クルー：**3日前、ノーマッドの貨物船が海のラフェン・シヴ (DGO P.10 参照) の一団にハイジャックされた。このような形で輸送が妨害されたのは今月2度目だ。ノーマッドのセラス・ネイションがこの貨物の奪還に懸賞金をかけている。お前たちのクルーはこの一件に首を突っ込んだ。問題は……チーム・モンスターだ。奴らはおまえたちに協力してくれるだろうか、それとも仲間割れして殴り合いを始めるだろうか？ (訳注：セラスはメキシコ湾を中心に、北米大陸両岸で広く活動する、海のノーマッド。アルデカルドやジョードと並ぶ有力ファミリーで、ノーマッドのセブン・ネイションズの七大部族連合の1つ)

トラウマ・チーム NC4-2 救急隊

- **失踪した従弟を探して：**PCたちは行方不明者の捜索を依頼され、フラッシュズという名のメディアを探した末、ステイクの所在を突き止める。しかしPCの雇い主は、“行方知れずの従弟を心配する親戚”ではなく、ツイストを狙う暗殺者だったのだ。

- **不動産トラブル：**ギャングがペニントとパドルズを今の住所から追い出し、より高額のみかじめ料を払える入居者を住まわせようとする。結果として銃撃戦が生じ、クルーの1人が(またはクルーの大事な誰かが)巻き込まれる。
- **トラウマ・チーム会員証の不正利用：**クルーの1人に、トラウマ・チームからの請求書が届く。発行者はNC4-2救急隊になっているが、もちろん身に覚えはない。誰かがトラウマ・チームの会員証を不正利用しているのだ。NC4-2救急隊は料金を払ってもらえるなら誰が支払うことになるかと気にしない。PCたちは料金取り立て屋につけ狙われる状況から脱する必要がある。

タイガー・クローズ

- **タイガー・イツで配達しよう！：**おまえは家賃を払うために大急ぎで現金を稼がなきゃいけなくなった。ありがたいことに、タイガー・クローズは即金で報酬が支払われる仕事を提供している：契約した飲食店から、顧客が指定した場所へ料理を(もしかしたらちょっとした“おまけ”も)届けるサービスだ。
- **見えざる手：**タイガー・クローズと日系人コミュニティの内部には、多くの“草”(長期に渡って一般人になりすましてスパイ活動を行なう^{キャッシュ}忍者)が潜んでいる。彼らはアラサカがナイト・シティへ戻ってくる日のために密かに準備をしている。デンジャー・ギャルは、この草どもを排除しなければならない。
- **地上げ屋を撃退せよ：**コンティネンタル・ブランドがタイガー・クローズの縄張りにおアシス・ストアの新店舗をオープンした。同社は近隣の食料品店や屋台に脅迫や襲撃を行なわせるためにチンピラどもを雇っている。クルーは高額報酬のためにコンティネンタル・ブランドに雇われるだろうか、それとも地元共同体に味方するだろうか？

ゾーナーズ

- **サイバースパイ：**ゾーナーズの秘密と行動計画が漏れている。身内にスパイがいるのか？ フリーフォールに借りのあるエッジランナーたちが、この謎の解明を頼まれる。
- **NCPDによる弾圧：**ナイトシティ市議会はNCPDに対し、ゾーナーズが抗議活動をあきらめて運命を受け入れるまでゾーナーズを弾圧すればボーナスを払うと決めた。勇敢なエッジランナーたちは、NCPDを手先に使ってゾーナーズを苦しめている黒幕を突き止められるだろうか。
- **俺たちがいるのはナイトシティだ！：**高価な積み荷を運んでいたペトロケムの輸送車が南ナイトシティで横転した。この積み荷を強奪してを売り払えば守りを固めたり食料を入手したりできるかもしれない。有力者との取引材料に使えるかもしれない。ゾーナーズ運動に最も必要なのは何だろうか。



オーガン・グライダー

これからあなたを診察します



数年前まで、オーソン・グランドは有望なメドテクだった。彼はサヴェジ・ドクスに勤務し、義肢や人工臓器の移植を専門にしていた。そして2044年、彼はピエロの仮装をして職場のハロウィーン・パーティーに向かった。それでウケを取れると思ったのだ。

このパーティーの途中で、グランドは緊急手術を行なうことになった。メロドラマのような話だが、患者は彼の弟だった。弟の止まりかけた心臓を新しい心臓に交換する役目に最もふさわしいのはグランドだった。代役を探す時間はなかった。グランドは馬鹿げたピエロの仮装をしたまま、機能を停止しつつある心臓その他の臓器を交換し始めた。結果は言わなくとも分かるだろう……まずいことが起きた。

手術の途中に仮装のせいで姿勢が崩れ、グランドは前によろめいた。外科用のこぎりが全速で回転し、弟の背骨をぶった切った。子供の頃から仲のよかった弟は、手術台の上で、血の泡を吐きながら息を引き取った。

グランドの心はこの医療事故で壊れてしまった。彼は退職し、何か月も行方をくらませた。そして、戻ってきた彼はボゾーズに加入し、“外科用チェーンソー”と称する武器を振り回し、ビッグ・トップの医療助手を務めるようになった。今の彼はオーガン・グライダー（内蔵を切り刻む者）と名乗っており、医療知識を活用して血が最もどばっと流れ出る場所を切り裂きながら笑い声をあげる。

(訳注：サヴェジ・ドクスについてはCPR P.313参照)

レベル	強化版雑魚 ^{ムーグ}	知名度	1	重傷状態	18	HP 35
ロール	メドテク:《メディシン》2(外科手術2)			死亡セーブ	6	

能力値

【知力】 3 【反応】 3 【敏捷】 7 【技術】 5 【魅力】 3 【意志】 4 【移動】 5 【体格】 6 【共感】 3

武器

超大型近接武器	攻撃回数 1	4d6	頭部	スキンウィープ 皮膚編織	SP7
低品質の大型拳銃	攻撃回数 2	3d6	身体	スキンウィープ 皮膚編織	SP7

防具

技能基本値

〈運動〉9、〈応急手当〉7、〈回避〉12、〈会話術〉5、〈格闘〉9、〈基礎技術〉7、〈救急医療〉10、〈教養〉10、〈近接武器〉13、〈外科手術〉9、〈言語:英語〉7、〈言語:ストリートスラング〉5、〈サイバー技術〉8、〈真意看破〉5、〈精神集中〉6、〈説得〉5、〈知覚〉6、〈土地鑑:リトル・ヨーロッパ〉5、〈ハンドガン〉5

装備

大型拳銃用ジャンク弾×16、エージェント、メドテク・バッグ

サイバーウェア

エキゾチック人体彫刻、皮膚編織



『インシデント』ミッションのネタバレあり 読むなら自己責任で！

ブラッドハウンドというあだ名は、彼がやや面長の顔にいつも悲しそうな表情を浮かべていたことに由来する。彼が料理という珍しい趣味のために嗅覚増強をインストールしたのはあだ名より後だ。彼はシュルーマーズで生まれ育った——これは、赤の時代を生き延びるために地下へ潜ってキノコを栽培している変わった連中だ。

シュルーマーズはナイトシティの地下鉄網のうち他から分断されて放棄された区画に住んでいる。彼らは食用キノコを大量生産しており、そこそそ美味しい料理を作れるだけの新鮮な食材に事欠かない。だからこそ、ブラッドハウンドは料理を趣味にするようになったのだ。

ブラッドハウンドは“^{へんれき}遍歴の一年”の間に地上の生活を気に入り、シュルーマーズが自作したローカルなデータ・プールでは入手できないメディアや音楽を集め始めた。そこからマラードやカボとも友達になった。

ブラッドハウンドは今回の潜入任務に大興奮していた——イカした企業のネットランナーが資料室でディープダイブして情報を漁る間、ちょっと見張りをするだけで金が貰えるのだ！ この手の仕事を続けられるなら、コナプトの家賃を払えるようになって、ずっと地上で暮らせるかもしれない。

(訳注：ブラッドハウンドという犬種は嗅覚に優れており、顔にしわが多くたれ耳で、悲しそうな表情をしているように見える。；ここで言うディープダイブはネットランのこと)

ブラッドハウンド

死体その2



レベル	強化版雑魚 ^{ムネウ}	知名度	0	重傷状態	15	HP	30
ロール	メディア：《クレディビリティ》2			死亡セーブ	4		

能力値

【知力】 4 【反応】 4 【敏捷】 4 【技術】 5 【魅力】 6 【意志】 4 【移動】 4 【体格】 4 【共感】 4

武器

低品質の超大型拳銃	攻撃回数1	4d6
小型近接武器	攻撃回数2	1d6

防具

頭部	—	—
身体	ケブラー®	SP7

技能基本値

〈運動〉6、〈応急手当〉7、〈隠密〉6、〈回避〉10、〈会話術〉6、〈科学：調理学〉8、〈格闘〉6、〈教養〉6、〈言語：英語〉8、〈言語：ストリートスラング〉6、〈拷問／薬物抵抗〉8、〈真意看破〉6、〈精神集中〉6、〈説得〉8、〈知覚〉8、〈土地鑑：ナイトシティの地下トンネル網〉6、〈忍耐〉8、〈ハンドガン〉10、〈文筆〉8、〈野外生存術〉10

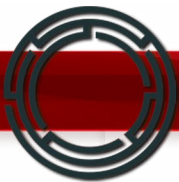
装備

超大型拳銃用通常弾×16、使い捨て携帯電話、メモリー・チップ、通信スキャナー／音楽プレイヤー、シュルーマーズのトークン

サイバーウェア

サイバーアイ（低光量／赤外線／紫外線）×2

デンジャー・ギャル・ドシエ+



カポ

患者その1



『インシデント』ミッションのネタバレあり 読むなら自己責任で！

カポは生まれも育ちも生粋のナイトシティ市民であり、リトル・ヨーロッパに住む安全で退屈な企業人の家庭で育った。しかしカポ自身は安全や退屈とほど遠い性格で、企業の職業学校では問題ばかり起こしていた。両親はそれでも娘を愛していたが、多忙のせいで娘の攻撃的な振る舞いに本気で向き合う時間がなかった。

その代わり、家族の友人が紹介してくれたローラダービーの楽しさが彼女を救ってくれた。この激しく荒々しい競技で、彼女は有り余るエネルギーを発散できたし、ついでに栄誉を勝ち取ることもできた。

カポはローラダービーにのめりこんだ。彼女の激しいプレイスタイルと暴力的で派手な活躍によって、すぐに小規模なファン集団が出来上がった。こうして彼女は本物のロッカーボーイになり、ヴァーチャル・アイドル的な活動を始め、さらにはレイザー・スクワッドという三流バンドにも参加した。

今のカポは新しい恋人のバグアウトと付き合い始めたばかりで、彼の従弟のブラッドハウンドを困惑させている。とはいえ、恋人の仕事に人手が必要なら、彼女は確実に付いて行こう。

彼女にはきれいな服やファッションウェアが必要なのに、ローラダービーもバンドも大した稼ぎにならないからだ。

レベル	強化版雑魚 ^{モーフ}	知名度	1	重傷状態	20	HP	40
ロール	ロッカーボーイ:《カリズマティック・インパクト》2	死亡セーブ	7				

能力値

【知力】 3 【反応】 5 【敏捷】 4 【技術】 3 【魅力】 5 【意志】 4 【移動】 5 【体格】 7 【共感】 5

武器

低品質の大型拳銃	攻撃回数2	3d6	頭部	—	—
小型近接武器	攻撃回数2	1d6	身体	ケブラー®	SP7

防具

技能基本値

〈運動〉10、〈応急手当〉5、〈隠密〉6、〈回避〉10、〈会話術〉7、〈格闘〉10、〈教養〉5、〈近接武器〉10、〈言語:英語〉7、〈言語:ストリートスラング〉5、〈真意看破〉7、〈精神集中〉6、〈説得〉10、〈知覚〉5、〈土地鑑:リトル・ヨーロッパ〉5、〈ハンドガン〉10、〈美容〉7、〈ファッション〉7、〈舞踊〉8

装備

大型拳銃用通常弾×16、エージェント、インライン・スケート

サイバーウェア

避妊インプラント、EMPスレッディング、^{グラフトッド・マッスル}強化移植筋肉&^{ボーン・レース}骨膜編織、テックヘア



『インシデント』ミッションのネタバレあり 読むなら自己責任で！

ジェイス・バラードがマラード（^{マガモ}真鴨）という通称で呼ばれる理由は2つある；1つは彼のテックヘアのモヒカンの色が真鴨に似ているから、もう1つはバラードとマラードで韻を踏んでいるから。駆け出しのフィクサーである彼が、ほとんどの時間をマリナー地区で過ごしていることも、水鳥っぽさに拍車をかけている。

しかし、^{カモ}鴨というあだ名とは裏腹に、彼の活動はもっぱら陸に限定されている。彼にはノーマッドの家族とのコネもなければ、水上生活に不可欠な平衡感覚と船酔い耐性もないからだ。

マラードが精を出している商売は、水中から物資を引き揚げるスカベンジャーやサルベージ業者がかき集めた品々の中から、良い商品を選び出すことと、どこでも聞けるような噂話をうまくまとめて“情報”として売りつけることだ。また、彼は小規模な友人やコネのネットワークを築いており、それによって自分のちっぽけな商売の安全を確保し、自分たちの時間と労力を費やす価値のある、やりがいのある仕事を確保している。マラードには、ゲリラ・マーケティングの達人であり13号ドックで活動するフィクサーでもあるミスター・アメイズの下で働いているという噂もある。

マラードはシュルーマーズの“遍歴の一年”で地上に出ていたブラッドハウンドと知り合った。最初のうち、マラードはこの伝手で食用キノコを安定供給してもらい、それを売って儲けようとしていた。だが次第に2人の間に本物の友情が育った——少なくとも、ナイトシティにおいては本物と呼べる友情が。

マラード

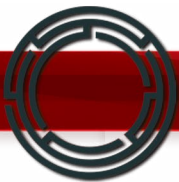
死体その1



訳注

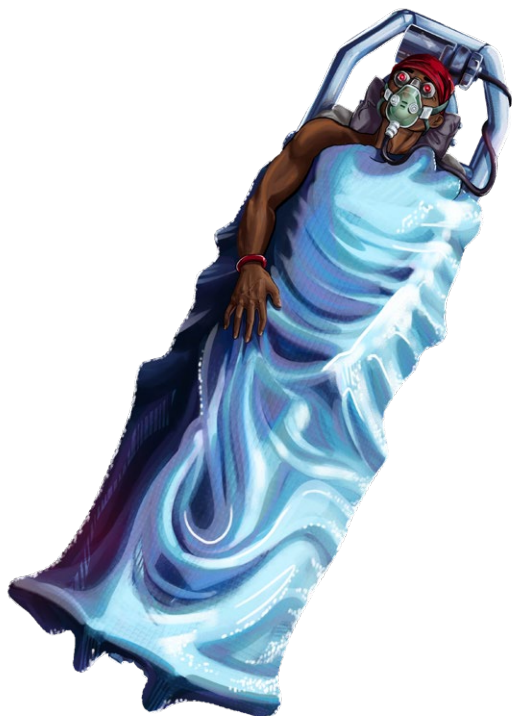
ミスター・アメイズは、ウィリアム・メイズ（ウィリー・メイズ、ミスター・アメイズとも）のこと。CPR P.430のスクリーンショット『箱をぶち壊せ』や、DLC『一生を変えるカクテルを』P.19で言及されている。

レベル	強化版雑魚 ^{ムーゾ}	知名度	1	重傷状態	15	HP	30
ロール	フィクサー:《オペレーター》2	死亡セーブ	4				
能力値							
【知力】	5	【反応】	4	【敏捷】	4	【技術】	5
		【魅力】	5	【意志】	4	【移動】	4
		【体格】	4	【共感】	4		
武器				防具			
低品質のアサルト・ライフル	攻撃回数1	5d6		頭部	—		—
低品質の大型近接武器	攻撃回数2	3d6		身体	軽装アーマージャック		SP11
技能基本値							
〈運動〉6、〈応急手当〉7、〈隠密〉6、〈回避〉10、〈会話術〉6、〈格闘〉6、〈基礎技術〉10、〈教養〉7、〈近接武器〉10、〈言語:英語〉9、〈言語:ストリートスラング〉7、〈真意看破〉6、〈精神集中〉6、〈説得〉10、〈知覚〉7、〈土地鑑:ハイウッド工業地区〉7、〈売買〉10、〈ライフル〉11							
装備							
ライフル用通常弾×25、旅行バッグ、使い捨て携帯電話、懐中電灯							
サイバーウェア							
ニューラル・リンク（チップウェア・ソケット、技能チップ（〈経理〉））							



バグアウト

患者その2



『インシデント』ミッションのネタバレあり 読むなら自己責任で！

もう1人のシュルーマーズであるバグアウト（サボリ屋）はごく普通のトンネル掃除屋であり、自分たちが住む地下世界に入ってくるギャングや害獣に対処していた——子供のころからの親友であるブラッドハウンドに、地上人の新しい友達を紹介されるまでは。

カボと初めて会った瞬間、彼は心の底から彼女に惚れ込んだ。シュルーマーズにもかわいい子はいたが、地下で20年も孤立生活を続けた結果、バグアウトと同年代の者たちのほとんどが多かれ少なかれ彼と血がつながっている上に、お互いのことを知りすぎていて家族としか思えなかったのだ。

カボは見たことのない相手だ。カボは自分たちと違う。そして何より、彼女は面白い。彼女は戦いが好きで、誰にも負けないパンチとキックを放つ。彼女はタフだから、地下へ移住してバグアウトと一緒にいるつもりがあるなら、立派なトンネル掃除屋になれるだろう。彼女が地上にいたいなら、それはそれでかまわない——バグアウトが地上へ移り住んで彼女と一緒になればいい。まぶしいネオンの光は気にならない。バグアウトには彼女しか見えていないのだから。

（訳注：バグアウトには、「大急ぎで逃げ出す」、「驚きや恐怖などで目を大きく見開く」という意味もある。彼の両目のサイバーアイが普通より大きく、目を見開いているように見えることでついハンドルかもしれない）

レベル	強化版雑魚 ^{トーク}	知名度	0	重傷状態	18	HP	35
ロール	ロッカーボーイ:《カリズマティック・インパクト》2			死亡セーブ	5		

能力値

【知力】 4 【反応】 5 【敏捷】 4 【技術】 4 【魅力】 4 【意志】 4 【移動】 5 【体格】 5 【共感】 4

武器

低品質のショットガン	攻撃回数1	5d6	頭部	ケブラー®	SP7
小型近接武器	攻撃回数2	1d6	身体	ケブラー®	SP7

防具

技能基本値

〈運動〉6、〈応急手当〉6、〈隠密〉8、〈回避〉12、〈会話術〉6、〈格闘〉6、〈教養〉6、〈言語：英語〉8、〈言語：ストリートスラング〉6、〈真意看破〉6、〈精神集中〉6、〈説得〉6、〈知覚〉10、〈追跡〉10、〈土地鑑：ナイトシティの地下トンネル網〉6、〈ライフル〉12、〈陸上ヴィークル運転〉10

装備

ショットガン用通常弾（散弾）×4、ショットガン用通常弾（スラッグ弾）×4、使い捨て携帯電話、シュルーマーズのトークン

サイバーウェア

サイバーアイ（低光量／赤外線／紫外線）×2

追加アイテム

ビニー・アーケード
Pinny Arcade社から発売された**サイバーパンクRED**ピンバッジ4点セットの台紙に載っていた4つのアイテムのうち、3つは『デンジャー・ギャル・ドシエ』に再録された。1つだけ仲間外れも何なので、4つ目をここに再録しよう。『デンジャー・ギャル・ドシエ』に登場するNPCの中にこのジャケットを着ている者は1人もいないが、ロッカーボーイやメディアなどの派手な目立つキャラクターなら誰でも似合うはずだ！

▶ スーパーフラッシュ・ジャケット

価格：500eb（高級）

スタイリッシュなアーバン・フラッシュのジャケット。着用者は1回のアクションとして、このジャケットから7メガカンデラの閃光を放つことができる。これを行なうと内蔵バッテリーが修理不可能な破壊状態になるが、バッテリーの交換は可能だ（500eb（程々））。この閃光はジャケットを中心とした範囲に閃光音響グレネードが炸裂したものとして扱うが、致命的損傷の“片耳損傷”は与えない。着用者自身も閃光の効果を受けるので、目を保護しておくことを勧める。交換用のバッテリーも単体で販売されている。

（訳注：現代の閃光手榴弾の明るさが約1メガカンデラ程度と言われている）

以下、『インシデント』ミッションのネタバレあり
読むなら自己責任で！

シュルーマーズ

この集団で存命の最高齢メンバーであるパー・サドルフットによれば、シュルーマーズは2つの別々な生存主義者集団から始まった。彼のグループはナイトシティ総合大学に属していたアマチュアの菌類マニアたちで、以前から個人的用途のために幻覚作用のあるキノコを栽培していた。だが彼らの趣味は赤の時代の社会変化にあまり対応できないことが判明したので、菌類の知識を食用キノコの栽培に転用したのである。彼らの食料供給能力はブースターギャングどもに狙われたので、彼らは自警団的なギャングに由来する別の生存主義者の集団と取引し、食料の提供と引き換えに守ってもらうことにした。そして、2つの集団は徐々に融合して1つの集団になった。（訳注：生存主義者は戦争や災害に備えて物資を備蓄しシェルターを築く人々。政府を信用せず自給自足の共同体を築くことも多い）

シュルーマーズの前身であるこの集団は、武器庫と食糧庫を放火で失ったことで地上世界を放棄した——パー・サドルフットは今でも、放火犯の正体に心当たりがない。地下生活を提案したのは、もう1人の存命の長老であるメイだった。若いころの彼女は熱心なアマチュア探検家だったので、ナイトシティの地下鉄に通じるメンテナンス用のトンネル網を知っていた。メイとその弟のエムリスはシュルーマーズを放棄された地下鉄の駅へ案内した。この姉弟は外部からの攻撃ですべてを失ったので、この駅を改装してねぐらにしていたのだ。

2025年に地下へ潜って以来、シュルーマーズは村の守りを固めて隠れ続けてきた。とはいえ、地下で栽培したキノコや高品質のスクラップで作った品物を売って他の必要な品を買うために、時おり地上へ出てくることもある。彼らのほとんどはよそ者と喜んで取引するが、自分たちのプライベートは決して明かさず、よほどの事情がない限り自分たちの地下共同体へ客を迎え入れることもない。よそ者が結婚や養子によってシュルーマーズに加わることもあるが、それが認められるか否かはその者の人となりによるところが非常に大きい。長老たちの中には、今もなお“シュルーマーズ結成当時のメンバーの子孫でない限り、大事な任務を任せることはできない”と考えている者もいる。

2045年現在、シュルーマーズはリクレイマーの一種と呼ぶのが最もふさわしい。彼らは棚に並んだキノコを丹念に世話し、多種多様なキノコや地衣類を栽培することで、栄養豊富な食料を大量に生産している。金属スクラップから道具や武器も自作しており、自力で作成も栽培もできないものは取引や死体漁りで手に入れる。シュルーマーズの子供たちは住居兼学校代わりの鉄道車両で教育を受け、12歳になると大人の仕事の見習いを始める。18歳になった若者は“遍歴の一年”を許される。これは若者が地上に出てよそ者と付き合い、外の世界を学んで、人生経験を深めるための制度だ。

遍歴の一年は多少の頭脳流出につながる。一部の若者はナイトシティの地上部分で仕事を見つけ、2度と地下へ帰ってこないからだ。とはいえ、地上へ移住した者も家族であることに違いはなく、シュルーマーズから縁を切られるわけではない。そういった者が地下で寝床と食事が必要になれば、いつでもシュルーマーズを頼れる。このような移住によってシュルーマーズがストリートとのつながりを保っているからこそ、必要とあらば外部の専門家を探すことも可能なのだ。

シュルーマーズは隠して、ミセス鈴木（DGD P.158参照）というフィクサーの強い味方だ。食用キノコを愛することにかけて、この女性を上回る美食家はめったにいない。彼女が14年間にわたり、旧ジャパンタウンのコンバット・ゾーンに1軒のボデガを維持し続けているのも、ひとえにシュルーマーズ（および彼らが育てる美味しいキノコ）との関係を維持するためである。

NPCトークン

現実世界で卓を囲んで遊ぶにせよ、オンラインで遊ぶにせよ、トークンがあるとアクション・シーンの登場人物たちの位置関係を把握しやすくなる。そこで我々は、『デンジャー・ギャル・ドシエ』にイラストが載っているNPC全員のトークンを作成した。これらのNPCの多くが、戦闘シーンに登場する可能性が低い人々なのは確かだ。とはいえ、これらのトークンを、他のシナリオに登場する別のNPCとして流用しても何ら問題はない。



